

日本共産党中央区議会議員

# 奥村あきこ レポート



奥村あきこ事務所 中央区月島1-24-2  
電話 3531-7136  
区議団控室 電話 3546-5575  
中央地区委員会 電話 3551-6820

ブログもご覧ください 『奥村あきこ』 で検索！

## 豊洲新市場 地下水モニタリング調査

# ベンゼン 基準の79倍に衝撃 検出されてはならない シアン、ヒ素も



第77回「築地市場の移転中止を求める宣伝・署名行動」に参加し、訴える党区議団と小竹ひろ子都議会議員（1月21日）。

1月14日、東京都が築地市場（中央区）の移転先とする豊洲新市場（江東区）予定地で行っている地下水のモニタリング最終調査で、調査した井戸201カ所の3分の1以上、72カ所で有害物質が環境基準をこえるなど、深刻な汚染の実態が改めて明らかになり、市場関係者や消費者に衝撃が広がっています。発がん性物質のベンゼンは、35カ所の井戸で環境基準をこえ、

最大で基準の79倍が検出されました。

「検出されてはならない」ところが環境基準である猛毒のシアン化合物は、39カ所の井戸で検出され、ヒ素も20カ所で基準をこえ、最大で基準の4倍近くが検出されました。

都が同日開かれた専門家会議（平田健正座長）の第4回会合に報告されました。

### 地下水再調査も決定

平田座長は「今回の濃度が上がってくるなら（盛り土の）再汚染がないとはいえない」と述べ、東京都は16日、豊洲新市場予定地（江東区）の敷地内に201ある地下水の観測地点のうち、有害物質が高濃度だった30カ所程度を選び、速やかに再調査を実施する方針を明らかにしました。

### 汚染対策は破たん

汚染された土壌を除去するのは大変なことなのに、都は汚染の広がりを調べようともしてきませんでした。

日本環境学会の畑明郎元会長は「一度汚染された土壌を100%きれいにすることはできない。専門家会議は汚染土壌、地下水があることを前提に議論すべきだ。地下水のくみ上げにも失敗しており、土壌はおそらく再汚染されている。土壌の再調査もすべきだ」と話しています。

### 抜本的再検討が不可欠

この調査結果は、これまでの都の土壌汚染対策では、汚染物質がすべて取り除かれたわけではなく、地下には、環境基準を大幅に上回る汚染土壌、汚染地

（裏面に続く）。

## 都議団の要請内容

- (1)地下水モニタリングの調査会社、手法を含め全面的に検証し、公表する
- (2)汚染地下水が上昇し盛り土が再汚染された可能性が高く、盛り土の汚染調査を行う
- (3)汚染調査や汚染対策工事について、専門家会議と異なる見解を持つ専門家を含めて徹底検証を行う
- (4)築地市場の補修、改善を急ぎ、築地市場の継続を含め移転中止の本格的検討を行う

(表面の続き) 下水が存在していることを示すものです。日本共産党都議団は、調査結果をふまえ、汚染状況などの全面的な検証を行うとともに、築地市場の現在地での継続をふくめ、豊洲移転計画を抜本的に再検討するよう、小池知事に面会して申し入れました。(要請内容は左記参照)。

小池知事は、「モニタリングの件は私も驚きました。これまでは何だったのかと、多くの都

民も感じていると思います。ご要望については共有する部分もあり、しっかり考えていきたい」と答えました。

### 石原元知事の責任追及へ

20日には、小池知事が会見し、石原慎太郎元知事の土地購入疑惑も明らかにすると表明しました。

東京都が築地市場(中央区)の移転先として、深刻な土壌汚染のある江東区豊洲の東京ガス

工場跡地を高価格で購入したことは違法だと、住民が都に、石原慎太郎元知事に土地購入費の578億円を損害賠償請求するよう求めた住民訴訟について、訴訟対応方針を見直しています。

豊洲移転を強引に進

めた石原氏の責任追及へ、都の方針の大きな転換です。

豊洲移転事業に6000億円もつぎ込んだ石原氏の責任は重大です。

日本共産党都議団も、都議会の豊洲移転問題特別委員会、さ

らには百条委員会を設置し、石原元知事の責任を明らかにするために、全力をあげていくとしています。

### 食の安全・安心を最優先に

豊洲新市場の予定地は、もともと東京ガスの工場跡地です。石炭を原料に、大量のヒ素を使ってガスをつくる中で、有害物質

## 若者に希望ある未来を



左より私、小栗、志村、(1人おいて)加藤。

1月11日、毎年恒例の新成人の方へメッセージを送る街頭宣伝を成人式会場前で行いました。昨年、「18歳選挙権」がスタートし、若者の声を政治に届けるチャンスが広がりました。長時間労働と低賃金、学生には重い学費負担、など若者が直面する課題は、社会全体の問題です。力を合わせ希望ある社会をつくっていきましょう!

が発生し、地中に深くしみこみ、土と地下水を汚染しました。そもそも生鮮食品を扱う市場にしてはいけない場所です。いくら「対策」をとっても、今後有害物質が出てくる危険があり、汚染の不安はなくなりません。

豊洲移転は抜本的に再検討することが必要です。